



ご存知 ですか？



臨床検査技師③生理機能検査

今回は臨床検査技師の中でも、直接患者さまと接して検査を行う「生理機能検査」部門で働く技師の仕事を紹介したいと思います。

当院の生理機能検査部門は、2つに分かれています。

- 超音波検査室……腹部、頸動脈、乳腺、甲状腺などの超音波検査を行います。
- 生理機能検査室……心電図や心臓超音波、呼吸機能検査、脳波、神経の検査、脈波図検査などの検査を行います。

今回は生理機能検査室のとある1日を紹介します。

始業前 検査機器の電源を入れ、機器によっては校正[※]という作業を行います。

特に呼吸機能検査は、温度、湿度、気圧の影響を大きく受けるので、その日の状態で正しい検査結果を出すために必要な作業です。

※計測器具の偏りを基準量によって正すこと



8:30 業務開始です

午前中は主に心電図や呼吸機能検査など、当日に結果が出せる検査を中心に実施しています。ホルター心電図や心臓超音波など午前中に予約された検査も行っています。



(心電図)



(脈波)

11:30 交代でお昼休み

交代で休憩をとりますので、いつでも検査に対応できるようになっています。

13:30 午後の業務開始

午前中よりも予約検査が増えます。呼吸機能の詳しい検査や脳波検査など、時間のかかる検査を中心にを行います。



(脳波)

私たちの行った検査を、医師が読影して、診断がつきます。



17:15 終業

他に、24時間心電図をとり続ける「ホルター心電図検査」を受けられた方の24時間分の心電図の解析などもしています。

いつでも患者さまに安心して気持ちよく検査を受けていただけるよう努力しています。ご不明な点や検査で不安なことなどございましたらお気軽に声をおかけ下さい。

(臨床検査部 前田 祥子)



(ホルター心電図解析)